

琉球王国の繁栄と薩摩藩による支配

島津氏の強兵に屈した琉球王国

14世紀、沖縄島には北山、中山、南山の3国が分立していたが、1429年に中山の尚巴志によって統一された。琉球王国の誕生である。

1470年、家臣の金丸(のちの尚巴)によって政権を奪われ、王統が交代。その後、琉球王国は最盛期を迎え、中国、朝鮮、東南アジアを結んだ中継貿易によつておおいに繁栄した。

16世紀末、豊臣秀吉によつて天下が統一され、琉球は朝鮮出兵で兵糧提供

を義務づけられた。その一方で、中国の明に朝鮮出兵の情報を通して、江戸幕府が開かれると、幕府は琉球を仲介した明との間接貿易を画策した。琉球はこれを拒否。1609年、徳川家康の許可を得て薩摩藩の島津氏が琉球を征服。以後、琉球は薩摩島津氏に服属して中国との朝貢貿易を継続する一方で、慶賀使・謝恩使を幕府のもとに派遣した(日中両属状態)。

1847年、琉球は日本に先立ち、イギリス、フランスによつて開港された。1854年には日本に來航したペリーと琉米修好条約を結んでいる。

独自の文化を育んできた沖縄の王朝・琉球王国は、島津氏によつて武力征服され、薩摩藩への服属を余儀なくされた。

沖縄の歴史年表

紀元前3~12世紀	貝塚時代 沖縄には弥生文化が伝わらず、貝塚を形成する独特の文化を築く。
12~13世紀	グスク時代 按司とよばれる豪族が石垣で囲まれたグスクを築いた。
14世紀	三山時代 各地の按司が3つの国(北山、中山、南山)に統合された。
1425年	シャムへの琉球船派遣が始まる。 →東南アジアとの貿易開始。
1429年	尚巴志が三山を統一し、琉球王国を建国。
1470年	尚円がクーデタにより王位に就く。(これ以後を第二尚氏王朝とよぶ。)
1477年	尚真が即位。中央集権化が進み、琉球王国は最盛期を迎える。
16世紀中ごろ	ポルトガルの進出により、琉球による中継貿易が衰退する。
1609年	薩摩藩が侵攻し、降伏する。
1611年	奄美諸島を薩摩藩に割譲。
1634年	将軍代替わりの慶賀使を初めて派遣。
1644年	国王代替わりの謝恩使を初めて派遣。
1853年	ペリーが琉球に來航。

14~15世紀の沖縄

三山による分立支配は100年余り続いたが、1429年、中山王・尚巴志によつて統一され、琉球王国が建国された。



今帰仁城を居城とした王統。1416年、尚巴志に滅ぼされた。

1406年に尚巴志が政権を掌握し、のち三山を統一した。

島尻大里城を居城とし、1429年に尚巴志に攻められ滅亡した。

琉球王国の王城だった首里城の正殿。戦災で焼失し、1992年に再建された。



北山の居城だった今帰仁城。世界遺産に登録されている。

薩摩藩の琉球出兵(1609年)

薩摩藩は3000の兵を率いて琉球に出兵。戦国乱世を生き抜いた島津の鉄砲隊に、琉球はなす術もなく敗れた。

1571年に琉球が支配したが、薩摩藩に割譲した。



沖繩本島上陸からわずか10日足らずで島津軍に制圧された。



人物列伝 尚寧 [1564~1620]

琉球第二尚氏王朝の第7代国王。1589年に即位し、明の冊封(さくほう)体制下に置かれた。1609年、薩摩藩の侵攻を受け、琉球を占領される。捕虜として本州に抑留され、駿府で家康に、江戸で将軍秀忠に謁見した。2年後に帰国を許されたが、奄美大島以下5島の割譲と貢租を強要され、以後琉球は事実上、薩摩藩に服属することになった。